

# ～ワーキンググループ報告～

# 大規模浸水対策ワーキンググループ

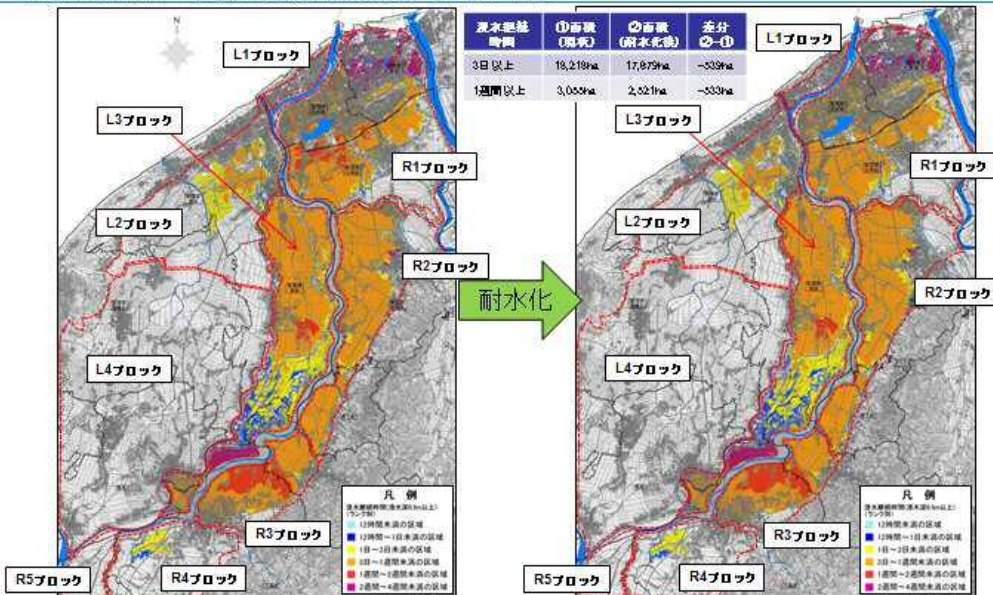
- 信濃川下流域における河川氾濫時の社会的リスクの共有と氾濫被害軽減に向けた方策について検討を実施。
- 平成28年度は2回(H29. 1. 18、H29. 2. 21)のWGを開催し、想定最大降雨規模を対象とした外水氾濫によるリスク情報の共有、排水機場の浸水リスク評価、適時的確な避難に向けた検討などを実施。
- 平成29年度は、適時的確な避難に向けた検討(ハザードマップの作成、周知方法など)を実施予定。

	H25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度～
行動計画	—	<p>【L1:計画規模(1/150)での検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下流域の外水氾濫の情報共有</li> <li>既存の排水機場等のリスク評価</li> <li>外水氾濫の被害軽減に向けた方策のリストアップ</li> <li>氾濫抑制対策の検討・耐水化が有効な排水施設のリストアップ</li> <li>適時的確な避難による被害軽減策検討</li> <li>ライフライン・インフラ施設被害に伴う影響検討</li> </ul>		<p>【想定最大降雨規模を対象として検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下流域の外水氾濫の情報共有</li> <li>既存の排水機場等のリスク評価</li> <li>外水氾濫の被害軽減に向けた方策のリストアップ</li> <li>氾濫抑制対策の検討・耐水化が有効な排水施設のリストアップ</li> <li>適時的確な避難による被害軽減策検討</li> <li>ライフライン・インフラ施設被害に伴う影響検討</li> </ul>	<p>適時的確な避難に向けた検討(ハザードマップの作成、周知方法など)</p>

※検討結果を適宜「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく信濃川下流域の減災に係る取組方針に反映

## 排水機場のリスク評価(浸水被害の軽減に向けて)

- 洪水時には各ブロックで浸水が長期間継続する。例えば浸水により停止する全排水機場を耐水化した場合、1週間以上浸水が継続する面積が全体で約3,100haから約2,500haへ縮小することが可能。
- これより、排水機場による排水は重要な役割を担っているといえる。



## 適時的確な避難に向けた検討(逃げ遅れ“0”を目指して)



# 水災害情報共有ワーキンググループ

	H25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度～
行動計画	・情報共有プラットフォーム(STEP1)を開設(H26.5～)	・「信濃川下流域情報共有プラットフォーム」のSTEP1をベースに、情報表示機能及び画面構成等を改良・追加したSTEP2を短期計画(概ね1～2年)で構築する。 ・双方向情報共有システムの検討 ・掲載情報の拡充		・信濃川下流域情報共有プラットフォームの改良を実施	引き続き、必要に応じてシステムの改良を実施する。

## 情報共有ワーキング報告

情報共有ワーキングは、昨年度までに出されたワーキングでの意見要望を元に、以下の機能を追加した。今後については、これまでの意見を踏まえた取り組みについて整理し、平成29年度早期にワーキングを開催する予定である。

## 平成28年度実施した改良内容

### ○ 阿賀野川流域の情報を追加

信濃川下流と氾濫原を共有する阿賀野川の情報を表示。

### ○ 重要水防箇所の一覧表表示を追加

河川事務所で整理している危険箇所の一覧とリアルタイムの水位観測値を併せた一覧表画面を表示する。

### ○ 避難所開設情報の追加

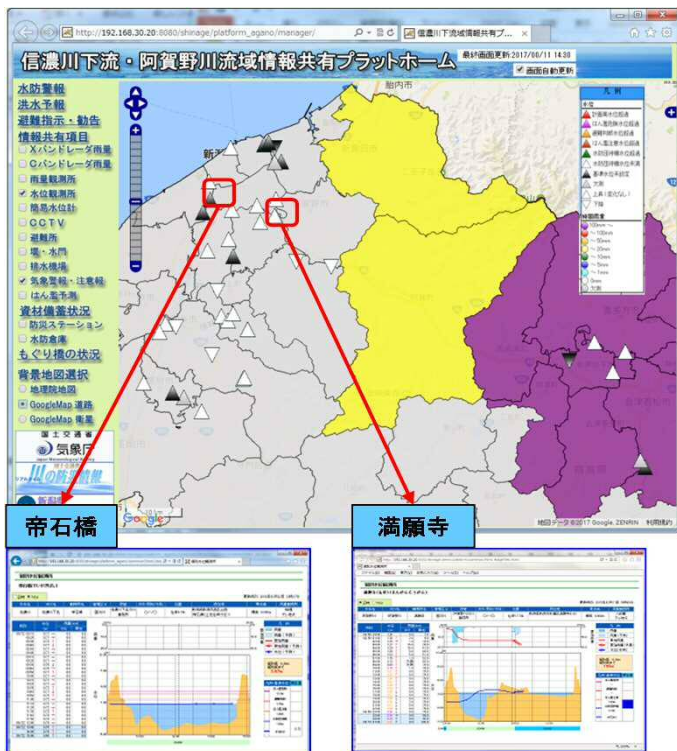
新潟県の防災情報提供システムの情報から、避難所の開設状況が分かるようにする。

# 水災害情報共有ワーキンググループ

## 阿賀野川流域の情報を追加

信濃川下流と氾濫原を共有する阿賀野川水系の情報も表示する。

水位・雨量以外にも気象情報、避難所情報など全ての項目で阿賀野川流域のデータを表示する。





## 避難所開設情報の追加

新潟県の防災情報提供システムの情報から、避難所の開設状況が分かるようにする。

開設された避難所はアイコンの色を変えて表示する。



避難所開設情報のある避難所はアイコンを別色にする。

開設情報あり:   
開設情報なし: 

アイコンクリックにより開設情報の詳細をポップアップ表示

## 重要水防箇所の一覧表表示を追加

信濃川の危険箇所の一覧とリアルタイムの水位観測値を併せた一覧表画面を表示する。

危険箇所の水位が一覧で確認できる。(管理者向けのみ提供)



近傍の水位計(水位計・簡易水位計)、現時刻水位、換算水位、堤防高との差分を表示し、水位計名クリックで個別水位/簡易水位計画面を別ウインドウ表示

水防災教育の側方支援及び自治体の防災研修等を支援することを目的として資料教材の整備を進めてきた。推進協議会の会員である7市1町1村、県及び国から既存の資料・図表・動画などを収集し、一元化して格納した「**信濃川下流域防災教育アーカイブ**」を創設。H28.4から運用開始。

	H25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度～
行動計画	<p>【治水・農業施設連携】</p> <p>①モデルコースの作成</p> <p>②現河道施設スタンプラリー（カードの作成）</p> <p>③遺構等の治水歴史巡りへの反映</p>	<p>【治水・農業施設連携】</p> <p>①関係機関より施設情報の収集整理</p> <p>②モデルコース案、リーフレット案の作成</p> <p>③電子スタンプラリーアプリの開発・試行</p> <p>【水防災教育】</p> <p>①教育機関へのヒアリング→必要な教材等の情報収集</p> <p>②関係機関より資料の収集</p> <p>③HPコンテンツを構築・試行</p>		<p>信濃川下流域情報アーカイブ 運用開始(H28.4～)</p>	<p>・情報の更新 ・内容の拡充 等</p>



運用開始からのアクセス数：967件 (H29.4.26時点)

今後の運用について

- 関係機関ホームページ上へバナー(リンク)を掲載
- 教育委員会等への積極的な広報
- 情報の更新
- 内容の拡充



[URL] <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinago/kyougikai/archives/>